

2011年(平成23年)6月22日 水曜日

岐 阜 新 聞

渡辺酒造店(飛騨市)の日本酒「蓬萊」 5年連続で最高金賞

モンドセレクション 金賞以上は10年連続



モンドセレクションで最高金賞などを受賞した日本酒と
渡辺久憲専務(飛騨市古川町壱之町、渡辺酒造店)

飛騨市古川町壱之町の渡辺酒造店(渡辺久郎社長)の日本酒「蓬萊」の2銘柄が、欧州で開かれた世界的な品評会、モンドセレクションで5年連続最高金賞に輝いた。金賞以上では、2002(平成14)年の初出品から10年連続受賞の快挙を達成。特別賞の「クリス

タルプレステージ・トロフィー」を県内企業で初めて獲得した。同品評会は、ベルギー政府が認定する組織委員会が1961(昭和36)年から開く「酒と食のオリンピック」。

今回は77カ国の957社から約2800点が出品された。5年連続で最高金賞

を受賞したのは「蓬萊超吟しずく」と「蓬萊大吟醸」。いずれも兵庫県産酒米の山田錦を35〜40割まで精白し、低温で通常の倍の約40日間をかけて発酵。圧縮機は使用せず、もろみを酒袋に入れて自然にしたたり落ちるしずくを集める「袋吊(ぶつり)」と呼ばれる製法で、純度の高い酒を造った。熟した果実のような香りとコクのある深い味わいが特徴という。

また「蓬萊上撰」と「天才杜氏の入魂酒」も金賞を受賞した。渡辺久憲専務(42)は「福島原発事故以来、日本全体が放射能の風評被害にさらされる中、受賞を機に安心・安全でおいしい日本を世界にアピールできれば」と話している。

(古宿博史)